

WORLD LEADING HOTELS

Vol.201



小原康裕が訪れる世界のリーディングホテル
「ベルモンド コパカバーナ パレス」

COPACABANA PALACE

2011年6月より「世界のリーディングホテル」を本誌に連載して参りましたが、お陰様で去年10月18日号にて記念の200回目のホテルを上梓致しました。200回目の本誌記念号を機に、ひとまず連載を休止しておりましたが、本年正月に充電期間を終え、今回の1月10・17日合併号から再び連載を開始致しました。

新たな誌面構成で刷新を図り、南米やアフリカを含め全世界的なグローバル取材を通して世界の一流ホテルをご紹介します。今後とも読者の皆様方のご支援ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



筆者 小原 康裕
国際ホテルジャーナリスト

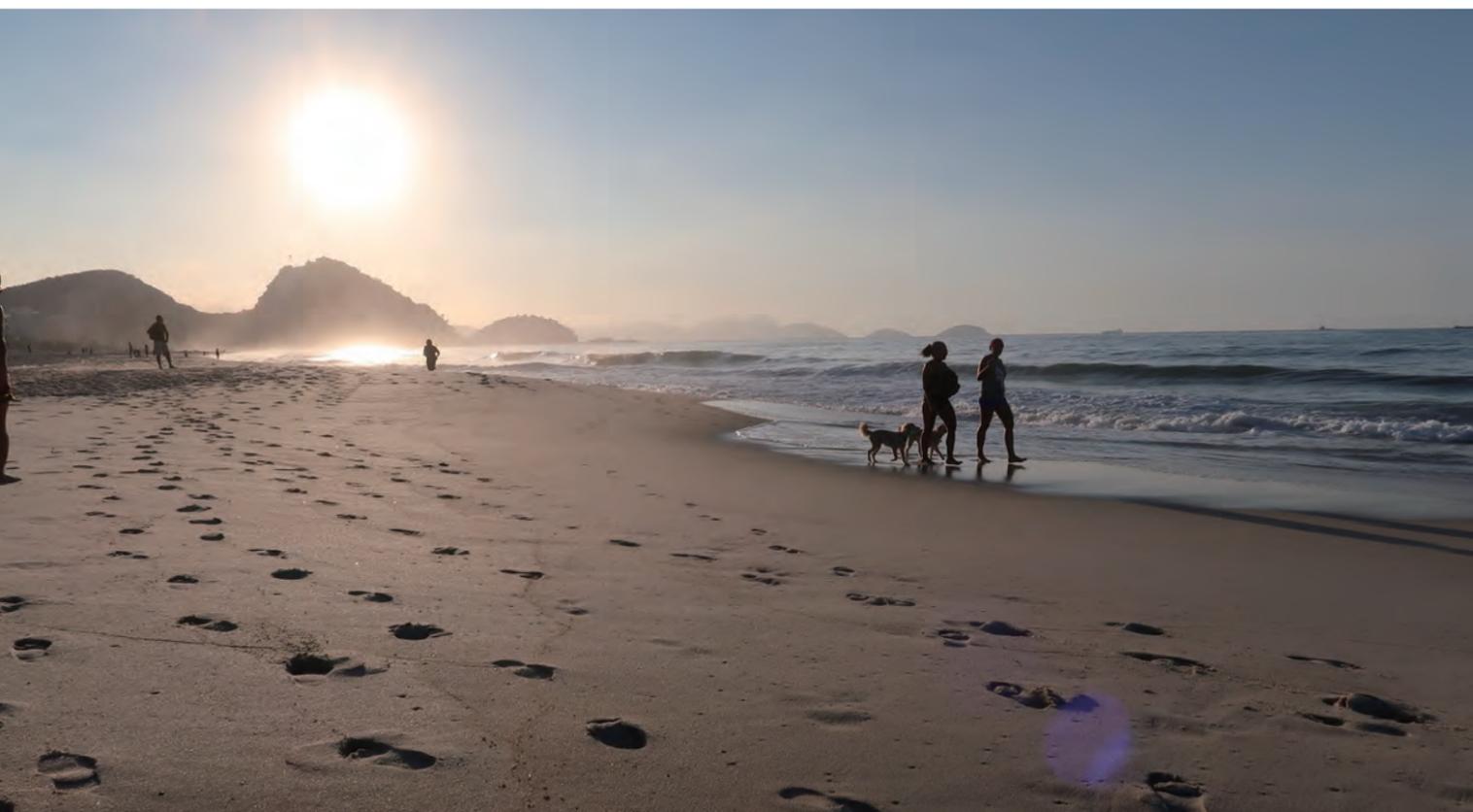
慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974年 Munich Re 入社。
2001年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
協会常務理事。
SKAL International Tokyo、
Professionnels du Tourisme 会員。
JARC、日本宿泊施設関連協会
アドバイザーボードメンバー。
www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
www.hoteresonline.com
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>

Belmond Copacabana Palace

ベルモンド コパカバーナパレス「Belmond Copacabana Palace」の白昼に輝く正面ファサード



コパカバーナビーチの砂浜から望むベルモンド コパカバーナパレス「Belmond Copacabana Palace」全景。コパカバーナパレスは1923年の創業以来、世界中の富裕層や著名人、セレブリティたちを迎えてきた。まさにリオデジャネイロの誇りを自認するばかりでなく、南米全体を代表する屈指の伝統と格式を誇る名門ホテルである



早朝の美しいコパカバーナビーチの風景。コパカバーナパレスの前面には黄金色に輝くコパカバーナビーチが広がる

Belmond Copacabana Palace

コパカバーナパレス「Belmond Copacabana Palace」は1923年の創業以来、世界中の富裕層や著名人、セレブリティたちを迎えてきた。まさにリオデジャネイロの誇りを自認するばかりでなく、南米全体を代表する屈指の伝統と格式を誇る名門ホテルだ。ベルモンドのフラッグシップホテルであり、コパカバーナの砂浜に白を基調とした宮殿を思わせるような美しい外観で佇んでいる。ホテルの建物はオーシャンフロントの本館とプール奥に位置するタワーウイングの2棟から成り立つ。歴史と伝統が織りなすクラシカルな本館の客室構成は徹底しており、オーシャンビューの部屋は全て上級クラスのカテゴリーに指定されている。

コパカバーナパレスはニースのネグレスコ、カンヌのカールトンといった南仏のシーサイドホテルを意識したデザインで、その華麗なアール・デコ様式の扉が開かれて以来、リオの迎賓館ホテルとして評価されてきた。最上階にあるペントハウス・スイートは7室が用意され、どのスイートも広々としたプライベート・テラスを持ちリオの景観を独り占めできる。もちろん、バトラーサービス、ペントハウス専用プールの“ブラックプール”の利用など究極の滞在を提供している。

コパカバーナパレスはスイートを含め全239室を擁しているが、今回は前述した7室のペントハウス・スイートの1つ「Penthouse Suite Ocean View」をご紹介したい。専用キーでエレベーターを降り立つと、年代物の調度品で飾られたホールに導かれる究極のラグジュアリー空間だ。レストランは多彩で、プールサイドには去年ミシュラン1ツ星を獲得し、上品な北イタリア料理が好評の「Ristorante Hotel Cipriani」、カジュアルな雰囲気ですてラスが人気の「Pérgula」などがある。既にミシュラン1ツ星をキープしているアジアンレストラン「MEE」は極上の和食を提供し、新鮮な刺身、鮭、日本酒が地元カリオカたちに好評で、日系ブラジル人のシェフと話が弾む。スパ施設「Copacabana Palace Spa」は七つのトリートメントルームを持ち、南米アマゾンの特色を出している。

コパカバーナパレスの前面には黄金色に輝くコパカバーナビーチが広がり、砂浜のホテル専用エリアではデッキチェア、パラソル、飲料水が用意される。海外の高級ホテルは意匠を凝らしたスリッパが置いてあるが、ここではスリッパの代わりにビーチサンダルが置かれている。ブラジル発信のサンダルブランド「イパネマ」のもので、そのままプールサイドや、コパカバーナビーチまで行ける。もちろん、そのまま持ち帰りOKで、嬉しいサービスと言える。



夜間、ライトアップされたコパカバーナパレスの正面ファサード



黎明期のリオの風景を描いた大型絵画を背後に掲げたレセプションデスク



正面エントランスに立つ笑顔のベルスタッフたち



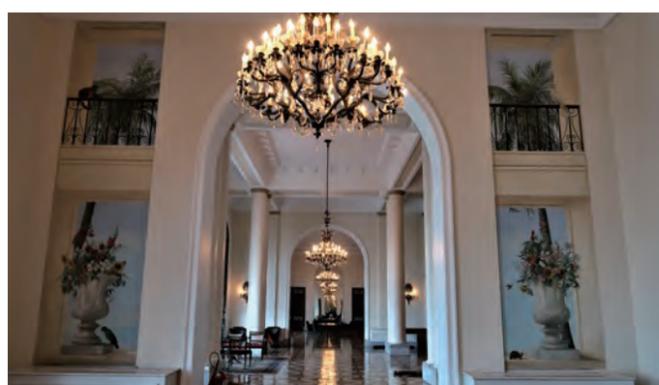
壮麗なボールルーム「Noble & Golden Room」。盛大な結婚披露パーティーやカクテル・ダンスパーティーなどに利用されるクラシカルなボールルームだ



上品な北イタリア料理が好評の「Ristorante Hotel Cipriani」のメインテーブル。去年ミシュラン1ツ星を獲得したエレガントなイタリアンレストランだ



「Belmond Copacabana Palace」のチャームなGM、Ms. Andrea Natal 女史。会談後、エントランスホールにて記念の1枚



コパカバーナパレスを代表するボールルーム「Frontal Rooms」。地元ブラジルの映画などにも度々登場する華麗なプロパティである



レストランはプールサイドに位置し、ランチは気軽に楽しめる



「Ristorante Hotel Cipriani」のディナー料理セッティング



落ち着いた雰囲気ライブラリーラウンジ「The Library」



多くの絵画を掲げた重厚な回廊



オリエンタルムードが漂うアジアレストラン「MEE」。ミシュラン1ツ星を長年キープしている人気レストランだ



極上の和食を提供し、新鮮な刺身、鮨、日本酒が地元カリオカたちに好評で、日系ブラジル人のシェフと話も弾む



カジュアルレストラン「Pérgula」の人気プールサイド席



最上階にある7室のペントハウス・スイートの一つ「Penthouse Suite Ocean View」のベッドルーム。専用キーでエレベーターを降り立つと、年代物の調度品で飾られたホールに導かれる究極のラグジュアリー空間だ



カジュアルレストラン「Pérgula」の笑顔の受付嬢



宿泊ゲスト以外にも地元の人気レストランで、アフタヌーンティーも好評だ



「Penthouse Suite Ocean View」のリビングルーム



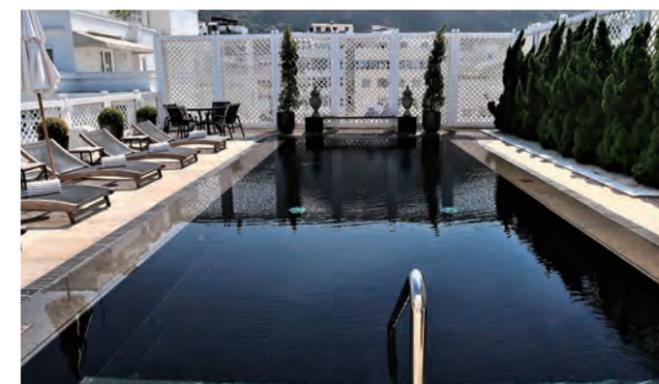
広々とした面積を確保したバスルーム。バスタブはビューバスタイプで、コパカバーナビーチを眺められる



スパ施設「Copacabana Palace Spa」に向かう回廊



7つのトリートメントルームを持ち、南米アマソンのクレイ粘土層を利用した独自色を出している



ペントハウス専用プールの「ブラックプール」。プール内側全面に黒色タイルを使い、水面もブラックに見せる仕掛けが面白い



広々としたプライベート・テラスからコパカバーナビーチを望み、リオの景観を独り占めできる